



～みんなで政党を作ろう～

# 新しい政治への挑戦

候補者求む! ～地方から日本を変えるベンチャー政党へ～



10.26参政党  
定例記者会見  
(niconico動画)



国政政党となった参政党は、参議院で神谷宗幣議員が、質問主意書や超党派の議員連盟を通じ、1議席ながらも地道な活動を続けています。合わせて力を入れているのが、地方の組織作りです。本当の意味で「国民が政治に参加する」には、全ての世代・地域に議員が必要です。総務省のデータをもとに、特になりに手が少ない40歳未満の男性と50歳未満の女性に重点を置き、参政党の理念を持った地方議員の当選を目指していきます。9月には沖縄県沖縄市議に新里和也(31)、10月には兵庫県川西市議に長田拓也(39)、新潟県燕市議に稲村隆行(36)、青森市議に木村淳司(31)がいずれも初当選しました。11、12月も

全国で地方議員選挙が続きます。また来年4月に始まる統一地方選挙では、全国で約500人の候補者の擁立・当選を目指します。これに向けた公募企画では、若手にとって最大のリスクとなる金銭面について意欲的な支援を行います。党アドバイザーに就任したCEO氏を中心に会社に設立し、起業をサポートする体制を作ります。万が一落選した場合も、農業などを中心に志をビジネスの場で実現できるようにし、次の挑戦へつなげていきます。10月の記者会見で松田学代表は「参政党は国会で議論するだけでなく、実際に日本をいい方向へ変えていくための実業もやっていく、ベンチャー政党でもある」と述べました。

## 公募者支援企画：支援対象と内容

**対象者(候補者) 40歳未満の男性・50歳未満の女性**

- 1 資金支援** 供託金 全額支援 **挑戦できる機会を支援**  
※選管より供託金返還時には党に返納いただきます。〈応相談〉選挙資金の貸与。
- 2 選挙活動支援** **選挙ノウハウを支援**  
候補者としての姿勢や選挙戦略などがわかるオンラインセミナー(計画中)。
- 3 起業サポート** **選挙後のアフターサポート**  
アドバイザーCEO氏によるサポート(計画中)。党スタッフ採用の可能性など。  
※1「現職でない」地方議会議員立候補者が対象になります。  
※2 対象年齢については該当選挙「告示日前日」までとなります。

## 今後の公募予定選挙区

**日本の源は地方にある!**

- 〈投開票日〉 〈選挙区〉
- 12/11 茨城県 笠間市議会議員選挙
  - 12/18 千葉県 香取市議会議員選挙
  - 12/18 青森県 十和田市議会議員選挙
  - 12/25 福岡県 福津市議会議員選挙
  - 2023/1月 茨城県 かすみがうら市議会議員選挙
  - 2/5 山口県 下関市議会議員選挙
  - 2/5 茨城県 那珂市議会議員補欠選挙
  - 2/19 兵庫県 丹波篠山市議会議員補欠選挙
  - 2023/2月 愛知県 田原市議会議員選挙
  - 京都府 亀岡市議会議員選挙
  - 群馬県 渋川市議会議員選挙
  - 香川県 多度津町議会議員選挙



- 2023/2月
- 山梨県 中央市議会議員選挙
  - 福井県 大野市議会議員選挙
  - 岐阜県 瑞浪市議会議員選挙
  - 沖縄県 豊見城市議会議員選挙
  - 栃木県 那須町議会議員選挙
  - 熊本県 甲佐町議会議員選挙
  - 熊本県 嘉島町議会議員選挙

全国全ての選挙で候補者公募しています。

詳しくは参政党HPをご覧ください



## 次のステージに! 政党DX出発!! 事業アドバイザーに CEO氏就任

政党デジタルトランスフォーメーションの本格活用へ!!

CEO(セオ) 連続起業家兼アーティスト。24歳より連続起業を経て、デジタルホールディングスやトランスコスモスへ会社を売却、ビーグリー社では株式上場を経験。2012年、第10回Webクリエイション・アワード、Web人貢献賞受賞。2016年からトランスコスモスの取締役CMOとして大企業経営に参画。また連続起業家としてだけでなく社会派アーティスト「CEOセオ」として活動を開始し、ホリエモンこと堀江貴文などとコラボレーション。「いつから何を始めてもいい」をビジョンに社会の矛盾や世の中の非合理性に訴え、個の挑戦を応援する。



## 外部アドバイザーに 和泉修(いずみしゅう)氏も就任決定!!

漫才師でありながら、「足で識(知)り、食で癒す」をキーコンセプトに、奈良県にサロン『足識食癒術Shu Izumi Salon 3S』を開業し、一万人以上を施術。食育など健康に関する講演など多方面で活躍。現代の食生活における誤った認識や固定観念による未病(病気なのかどうか分からないがカラダの調子が悪い)の人が多く事に危機感を募らせ、独自で実践と研究を続ける。



ホームページで参政党をチェック!

<https://www.sanseito.jp/>

参政党とは



3つの重点政策



参政党の政策



党員募集中!



メンバー



## 参政党の新型コロナ・ワクチン政策

政府の新型コロナ感染症対策に対して、参政党は「ウイルス感染症の正しい科学的知識に基づいたモードチェンジを早急に行うべき」と提唱して参りました。

現在では、新型コロナウイルスは世界中で、第5波デルタ株までのウイルスから重症化率が極めて低いオミクロン株にとって変わっています。それでも日本で接種が強力に進められている「遺伝子型ワクチン」(mRNAワクチン)について、参政党は、そのリスクの科学的評価に基づいて、現行の接種推進策を根本から見直して国民の健康を守ることを提唱しています。



【2022年10月改訂 一部掲載】 [詳しくは参政党HPをご覧ください](#)

- 1 5～11歳の子どもに対する新型コロナウイルスmRNAワクチンの「努力義務」と「接種勧奨」を撤回すること。
- 2 生後6か月以上4歳以下への新型コロナウイルスmRNAワクチンの接種を見送ること。
- 3 新型コロナウイルスmRNAワクチン接種記録と接種後の医療データからワクチン副反応等を追跡調査可能なフォローアップ体制を構築すること。

また、「子どもへのワクチン接種とワクチン後遺症を考える超党派議員連盟」では神谷議員も、同議員連盟として9月20日に提言書を内閣官房長官及び厚生労働大臣に手交しました。

参政党は、本議員連盟の活動を引き続き推進するとともに、上記の政策の実現に向けて国政の場における活動を強化し、国民や関係者に対する啓発活動にも邁進していきます。



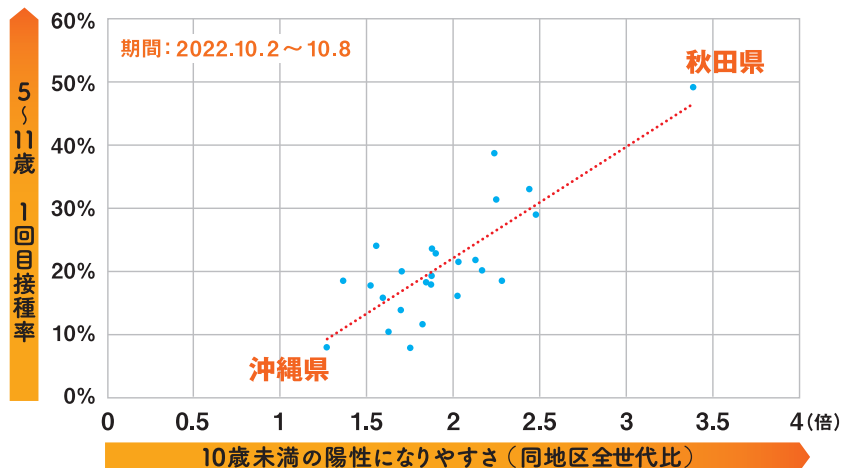
同議連の10月18日に行われた、推進派、中立派・慎重派、反対派、それぞれの立場にある専門家と厚労省と超党派議員連盟に参加した神谷議員も交った議論会の配信映像がニコニコ動画で公開され、翌日のニュース、ワクチンのキーワードで1位になり、Twitterでは「ワクチン大議論会」がトレンド入りするなど、議論に注目が集まりました。 [ニコニコ動画で視聴できます](#)



専門家と交えた **ワクチン大議論会** LIVE配信  
10.18 16:10-17:30  
推進派、中立派、慎重派、反対派の議論会

## 「5-11歳の接種率」と「10歳未満の陽性になりやすさ」

- 同じ地区の全世代の陽性率と10歳未満の陽性率を比較。  
例：秋田県の10歳未満は、秋田県の全世代と比べて3.38倍陽性に。



※厚生労働省アドバイザーボード最新資料を元にした 藤江@元国会議員秘書YouTuberより出典

## 国会で質問主意書、合計14本提出

8月5日の第209回の臨時国会にて5本、10月24日の第210回の臨時国会にて9本 神谷宗幣議員が以下の質問主意書を提出しました。

### 第209回 国会(臨時会) 神谷議員、質問主意書を5本提出

- 質問第16号 外国資本による国土買収の実態把握に関する質問主意書
- 質問第17号 新型コロナワクチン接種の副反応および未成年者、子供への「接種機会提供」に関する質問主意書
- 質問第18号 ウクライナへの我が国の防衛装備品の供与(移転)及び穀物輸出等にかかわる支援に関する質問主意書
- 質問第19号 咲洲メガソーラーなどエネルギー供給基盤事業への中国企業参入に関する質問主意書
- 質問第20号 拉致被害問題の解決における特定失踪者の調査及び拉致問題啓発、生存者情報の確認に関する質問主意書

### 第210回 国会(臨時会) 神谷議員、質問主意書を9本提出

- 質問第19号 父母の離婚後の親権者に関する規律に関する質問主意書
- 質問第20号 外国の利益になる不当な情報操作を防ぐための法整備に関する質問主意書
- 質問第21号 中国の海外警察拠点に関する質問主意書
- 質問第22号 「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」に関する質問主意書
- 質問第23号 外国人の生活保護受給に係る最高裁判決を踏まえ旧厚生省通達を見直す必要性に関する質問主意書
- 質問第24号 外国人の永住許可に関する質問主意書
- 質問第25号 外国投資家の株式保有割合の増加に関する質問主意書
- 質問第27号 外国人留学生を増やすため岸田文雄総理大臣が命じた計画策定に関する質問主意書
- 質問第28号 台湾有事を想定した国民保護訓練に関する質問主意書



参議院HP ▲  
第209回国会



参議院HP ▲  
第210回国会

上記質問内容と内閣総理大臣からの答弁内容は、参議院ホームページからご覧いただけます。参政党では、政策委員会を設立しており、国民が政策に提言できる場所づくりを行なっています。

## コロナモードチェンジ 全国キャラバン

10月から年内にかけて、全国の12地方都市(三重、茨城、兵庫、大阪、徳島、佐賀、宮城、沖縄、宮崎、横浜、福岡、愛知)で参政党アドバイザー井上正康先生、吉野敏明先生、松田学党代表、赤尾由美氏による講演会と、街頭演説会を行います。専門家による科学的見地からのコロナ感染症やワクチンについての正しい知識と、参政党の新型コロナ・ワクチン政策について、最新の情報をお伝えしています。

国政政党の参政党が  
岸田政権の新型コロナ政策へ  
モードチェンジを提言する



## 参政党ドキュメンタリー映画を上映開催

参院選前の4月から国政となって歩みだした8月末までを記録したドキュメンタリー映画『おはよう～参政党の歩み～』 Documentary of SANSEITO。9月29日(木)の自主上映会を皮切りに、全国各地で上映会を開催しており、10月は鹿児島から始まり、11月は奈良、石川、埼玉、宮崎、山口、北海道、山形、福井、神奈川、鳥取、神奈川、12月は長崎、三重、熊本、福岡、徳島、滋賀、と1月中旬まで決まっています。詳細情報は、映画特設サイトでスケジュールをご確認ください。

おはよう  
参政党の歩み  
Documentary of SANSEITO



## タウンミーティング、年内20以上の地方都市で開催

松田学党代表、神谷宗幣事務局長、アドバイザーの武田邦彦氏、小名木善行氏、井上正康氏(その他、鈴木宣弘氏、伊藤祐靖氏)による講演会を開催しています。参政党の3つの重点政策「子供の教育」「食と健康」「国もり」、日本の真の歴史、メディアの情報操作、参政党が目指す日本の未来の姿についてお伝えしています。



開催スケジュール▲

毎日更新! YouTube

参政党【政党DIY】チャンネル

毎日更新! 参政党【政党DIY】チャンネル



参政党とは、「仲間内の利益を優先する既存の政党政治では、私たちの祖先が守ってきたかけがえのない日本がダメになってしまう」という危機感を持った有志が集まり、ゼロからつくった政治団体です。特定の支援団体も、資金源もありません。同じ思いをもった普通の国民が集まり、知恵やお金を出し合い、自分たちで党運営を行っています。

国民が政治に参加する/

参政党

DO IT YOURSELF !!

◎参政党はHP/SNSでさまざまな情報を発信しています

